

教科(科目)	公民(政治・経済)	単位数	2単位	学年(コース)	3学年（選択）
使用教科書	東京書籍 政治・経済				
副教材等	東京書籍 政治・経済 演出ノート				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

○グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

～卒業までにこのような資質・能力を育みます～

- ① 主体的に課題を見つける感覚を養い、自ら学び、解決策を創造する資質・能力と産業社会で求められる倫理観と規範意識を育成します。
- ② 生涯にわたって学び続ける意欲を養い、新たな産業に柔軟に対応する自己指導力を育成します。
- ③ 国際的視野に立って考える姿勢を養い、地域の発展と豊かな暮らしに貢献するために必要な思考力、発想力を育成します。

○カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～

- ① 共通教科の学びを強化して、基礎学力の定着を図ります。
- ② 工業高校で学ぶ基本的な知識や技術を習得し、課題研究や新しいIT技術について、主体的な学び方と実践する場を設定します。
- ③ 将来、国内・国際社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力や英語力の向上を図り、多様な価値観を持つ仲間との協働的学習を行います。

2 学習目標

2年次「公共」での学習を基礎に、社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。その際、基本的な概念や理論を理解し、活用しまとめる技能や多面的・多角的に考察し公正に判断する力や議論する力を養う。また、あわせて合意形成や社会参画に向かう力を養う。よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決使用とする態度を養うとともに、国民主権を担う公民として必要な自覚を深める。

3 指導の重点

- ①教科書にでている基本的な用語をより深く理解させる。
 - ②基本的な知識を踏まえたうえで、現代社会の実態がどうなっているかを考察できる力を身につけられるようにするとともに他者との合意を形成できる資質・能力を育成する。
- 政治・経済はA現代日本における政治・経済の諸課題、Bグローバル化する国際社会の諸課題の2つに分かれ、それぞれ現実社会の課題と「社会の在り方についての見方・考え方を働かせた探求ができるようになっているので、資料集や実際の出来事を随時活用するようにする。時間に余裕があれば、生徒たちに討論もさせてみたい。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 現実社会の諸課題の解決に向けて手掛かりになる概念や理論を理解している。社会の在り方を考察、構想するための情報を収集し、読み取り、適切かつ効果的にまとめている。	・ 現代社会の実態から、そこに存在する課題を把握し説明するとともに、適切な意見を構想する。妥当性や実現可能性を客観的に判断し、合意形成や社会参画に向かうようにしている。	・ 積極的に社会的課題を見つけ、研究し、解決策を提案している。多文化共生社会の実現のために何が必要で何が課題かを考察している。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次とおりです。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
	以上の観点を踏まえ、 ・ 授業時の様子 ・ 小テスト ・ 定期考査 ・ 課題提出 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 授業時の様子 ・ 小テスト ・ 定期考査 ・ 課題提出 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 授業時の様子 ・ 小テスト ・ 定期考査 ・ 課題提出 などから、評価します。

6 学習計画

月	単元名・教材	主な学習領域	学習活動（指導内容）	時間
4 ・ 5	A 現代日本における政治・経済の諸課題 (1) 現代日本の政治・経済 教材：教科書等	○政治と法の意義と機能 ○基本的人権の保障と法の支配 ○権利と義務との関係 ○議会制民主主義 ○地方自治	・政治分野の基本原則を学習する。 特に法の支配と立憲主義の重要性を理解する。 ・基本的人権と義務との相関性を考察する。 ・政治制度の仕組みを理解する。	10
5 ・ 6 ・ 7	(1) 現代日本の政治・経済 教材：教科書等	○経済活動と市場 ○経済主体と経済循環 ○国民経済の大きさと経済成長 ○物価と景気変動 ○財政の働きと仕組み及び租税などの意義 ○金融の働きと仕組み	・経済の基本的事項を確認する。 ・現実の諸事象を通じて理解を深める。 ・経済活動と福祉の向上との関係について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融による経済の活性化について考察、構想、表現する。	16
9 ・ 10 ・ 11	(2) 現代日本における政治・経済の諸課題の探求 教材：教科書等	○少子高齢社会における社会保障の充実・安定化 ○地域社会の自立と政府 ○多様な働き方・生き方を可能にする社会 ○産業構造の変化と起業 ○歳入・歳出両面での財政健全化 ○食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現 ○防災と安全・安心な社会の実現	・取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを連動させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方について説明し、論述する。 ・理論と現実の相互関係を踏まえつつ日本社会の動向に着目し、国内の諸地域や諸外国の取組なども参考にする。	20
11 ・ 12 ・ 1	B グローバル化する国際社会の諸課題 (1) 現代の国際政治・経済 教材：教科書等	○国際社会の変遷 ○人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義 ○国連など国際機関の役割 ○我が国の安全保障と防衛 ○国際貢献 ○貿易の現状と意義 ○為替相場の変動 ○国民経済と国際収支 ○国際協調の必要性や国際経済機関の役割	・国際平和と人類の福祉に寄与しようとする自覚を深め、現代の諸課題を追究し、解決に向けて構想する。国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・現実の諸事象を通じて理解を深める。 ・相互依存関係が深まる国際経済の特質について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・日本の果たすべき役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	12
1 ・ 2	(2) グローバル化する国際社会の諸課題の探求 教材：教科書等	○グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容 ○地球環境と資源・エネルギー問題 ○国際経済格差の是正と国際協力 ○人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取組 ○持続可能な国際社会づくり	・取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを連動させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい国際社会の在り方について説明し、論述する。 ・理論と現実の相互関係を踏まえつつ国際社会の動向に着目し、世界の諸地域や国際連合や NGO などの取組なども参考にする。	12

計 70 時間(50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・単元の内容に沿った課題を提示するので、その都度提出することになる。
- ・興味のある課題について、レポートを提出することになる。
- ・長期休業中の課題は別途指示する。

8 担当者からの一言

『政治・経済』は公共で学んだ基礎的事項をさらに発展させ、よりよい社会の実現を構想する科目であり、基本的な知識（用語）をベースに現在の社会に関心を持ち、日常的に考える態度を持つてほしい。多面的・多角的な考察が求められるため、柔軟で積極的な思考を育てて欲しい。